

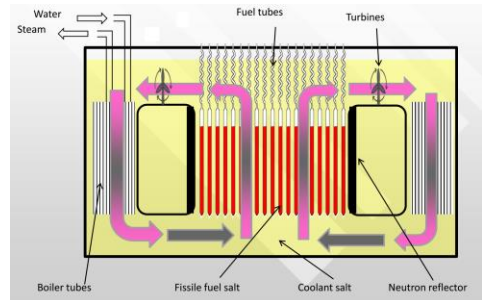
都市大原子カシンポジウム 各国のトリウム原子炉開発の現状

～ トリウムエネルギー国際会議ThEC2015(ムンバイ)報告を中心として ～

2015年10月、インド、ムンバイで第5回トリウムエネルギー国際会議ThEC2015が開催されました。ここで報告された最新情報に基づき、元来国策として推進しているインドのトリウム炉開発を始め、イギリスやトルコでも開始されたフィージビリティ研究の概要等、各国の取り組み状況を紹介・解説します。

昨今のレア・アース不足騒動や福島事故をきっかけに、トリウム資源は世界各国で多くの注目を浴びる様になりましたが、中には過度な期待や誇張があることも否めません。一方で、原子力を取り巻く新潮流に常に冷静な目を向ける姿勢も大切です。

本シンポジウムでは、トリウムを取り巻く最近の世界動向をお伝えするとともに、ウラン・プルトニウム政策を進める日本は「トリウム資源をどう捉えておくべきか」について専門家や参加者間での議論を通じ、考えて参ります。



日時: 2015/12/9(水) 14:00-17:00

場所: 東京都市大学 渋谷サテライトクラス(五島育英会ビル B1F)

東京都渋谷区道玄坂1-10-7

(JR渋谷駅南口より徒歩5分程度)

参加費: 無料

定員: 50名(先着順)

主催: 東京都市大学 工学部 原子力安全工学科

内容:

・開会の挨拶

・講演1 「トリウム原子炉開発の新潮流」

東京都市大学教授 高木 直行

・講演2 「トリウム燃料未臨界炉の開発状況」

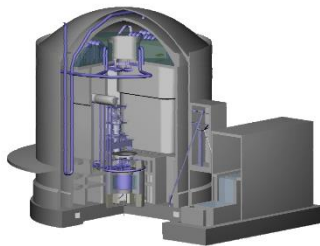
日本原子力研究開発機構 佐々 敏信

・総合討論「トリウム資源をどう捉えておくべきか?」

東工大名誉教授、都市大客員教授 関本 博

+講演者+ご出席の皆さま

・閉会の挨拶



参加申込み

下記項目を電子メールにて事務局までお送りください。

件名: 2015/12/9 都市大原子カシンポジウム参加申込み

①氏名:

②所属/役職:

③E-Mailアドレス:

事務局: 都市大原子カシンポジウム事務局 小宮

送信先メールアドレス: nuclearsafety@tcu.ac.jp

申し込み締切: 2015年12月2日(水)

注: 会場定員(50名)に達し次第受付を終了させていただきます。

